

九州・沖縄地区ニュース

////////// No.111 2013.3 //////////////////////////////////////

日本学術会議 九州・沖縄地区 代表幹事 吾郷眞一

九州・沖縄地区の会員、連携会員の皆様におかれては、平素より地区の学術活動の中心となってお活躍いただいておりますことを、お礼申し上げます。九州・沖縄地区ニュース111号をお届けします。

長期間続いている閉塞感がいつ快方に向かうのか定かでない中、震災からの復興はゆっくりとしか進んでいないように見受けられます。国際関係でも九州・沖縄にごく近い部分で隣国とのあいだに緊張が高まり、これまたすぐには改善の方向が見えてきません。学術研究の分野もそれらの影響を受けていますが、ここは踏ん張りどころだと思います。

九州・沖縄地区会議では、平成24年度の活動として、平成24年12月と平成25年1月にそれぞれ佐賀大学と琉球大学の協力を得て、科学者懇談会と講演会を開催いたしました。いずれの懇談会・講演会の場にも地区会議メンバーに参加していただきました。また、沖縄地区

では多くの連携会員の皆様にも参加していただき、これからもさらに多くの会員、連携会員の皆様に働き掛け実り多い場としていけたらと思います。

なお、沖縄での学術講演会は「グローバル社会と共生社会」がテーマだったのですが、まさしく昨今の領域紛争において国家同士の紛争がむしろ地域の共生を妨げている、地域から発する紛争解決のほうの方が重要であるという認識が講師の先生より示されたことは大変興味深いことでした。その意味でも九州・沖縄地区会議の活動は重要であると思われま

す。今後とも九州・沖縄地区会議においては、地域における研究者の交流の場を提供し、地域と市民に向けた学術情報の発信に今まで以上に努めて参る所存です。

【科学者懇談会の開催】

平成24年度、九州・沖縄地区会議では、平成24年12月に佐賀市、平成25年1月に那覇市にて科学者懇談会を実施いたしました。

例年、九州・沖縄地区会議が主催する科学者懇談会においては、その時々々の学術を取り巻く環境が変わる中、日本学術会議の会員と、各地域にて研究活動を行っている研究者との間で意見が交わされております。

冒頭、佐賀市では春日副会長から、那覇市では齋藤事務局長から日本学術会議の活動概要について説明があった後、社会における科学の役割や国際的な学術交流の促進、特にアジア地域における連携の強化などについて活発な議論が行われました。

第1回 科学者懇談会

日 時：平成24年12月7日（金）12:00～13:30

場 所：佐賀大学 附属図書館4階 会議室（住所：佐賀市本庄町1）

出席者：

日本学術会議	副会長	春日 文子
	九州・沖縄地区会議代表幹事	吾郷 眞一
	九州・沖縄地区会議会員（第一部会員）	箱田 裕司
	九州・沖縄地区会議会員（第二部会員）	前原 喜彦
佐賀大学	学長	佛淵 孝夫
	理事（研究・国際・社会貢献担当）・副学長	中島 晃
	理事（教育・学生担当）・副学長	瀬口 昌洋
	理事（企画・財務・労務担当）・副学長	岩本 諭
	文化教育学部長	福本 敏雄
	経済学部長	平地 一郎
	医学部長	瀨崎 雄平
	工学系研究科長	林田 行雄
	農学部長	藤田 修二
	海洋エネルギー研究センター教授	門出 政則
西九州大学	学長	向井 常博
西九州大学短期大学部	学長	福元 裕二
佐賀女子短期大学	学長	山田 直行
放送大学佐賀学習センター	所長	古賀 和文



第2回 科学者懇談会

日 時：平成25年1月29日(火) 12:00~13:30

場 所：那覇市ぶんかテンプス館 3階 会議室(住所：那覇市牧志3 2 10)

出席者：

日本学術会議	事務局長	齋藤 敦
	九州・沖縄地区会議代表幹事	吾郷 眞一
	九州・沖縄地区会議会員(第一部会員)	箱田 裕司
	九州・沖縄地区会議会員(第三部会員)	小松 利光
琉球大学	学長	岩政 輝男
	理事(病院・研究・国際交流担当)	佐藤 良也
	理事(財務・施設担当)	親川 兼勇
	副学長(教育・研究・社会連携担当)	山崎 秀雄
	法文学部長	前門 晃
	理学部長	山里 眞
	農学部長	川本 康博
	工学部長	高良 富夫
	熱帯生物圏研究センター准教授 (日本学術会議連携会員)	中島 裕美子
沖縄県立看護大学	学長	前田 和子
沖縄国際大学	常務理事	新垣 勝弘
沖縄キリスト教学院大学	学長	中原 俊明
名城大学	学長	瀬名波 榮喜
放送大学沖縄学習センター	センター長(日本学術会議連携会員)	宜保 清一
沖縄科学技術大学院大学	学長特別顧問	菅原 寛孝
上原地盤工学研究所	主宰	上原 方成

沖縄学術振興会議	会員	後藤 政弘
沖縄科学技術振興センター	理事長	比嘉 辰雄
琉球大学	名誉教授	尚 弘子



【学術講演会の開催】

九州・沖縄地区会議では、九州各県において、地元大学等の協力を得て、科学者懇談会・学術講演会を開催しています。平成24年度においては、平成24年12月に佐賀市、平成25年1月に那覇市にて実施いたしました。

「高齢化社会の健康と医療技術」 佐賀大学

日 時：平成24年12月7日（金）14:00～16:40

場 所：佐賀大学 理工学部6号館（DC棟）（住所：佐賀市本庄町1）

平成24年12月7日（金）、佐賀市において、佐賀大学主催、佐賀県内の複数の教育研究機関の共催で、「高齢化社会の健康と医療技術」をテーマにした学術講演会を開催しました。

春日文字子副会長及び佐賀大学佛淵学長のご挨拶の後、佐賀大学医学部の堀川悦夫 教授、西九州大学健康福祉学部の柳田晃良 教授及び佐賀大学工学系研究科の中山功一 教授の3名の先生方を講師に迎え、テーマに沿ったご講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約100名の参加がありました。



はじめに、堀川悦夫 先生から、「脳科学研究の展開 ラボから日常生活へ」という演題でご講演いただきました。

高齢者人口比率が世界で最も高く今後も増加が見込まれている我が国において、認知症高齢者の増加が予想されておりますが、高齢社会での重要問題の一つである認知機能と自動車運転の問題などを例として、これまでの研究成果について概括していただき、併せてこれからの展望についてもお話いただきました。



引き続き、柳田晃良 先生から、「食品機能とメタボリックシンドローム予防」という演題でご講演いただきました。

食生活を含めた生活スタイルの欧米化に伴い、メタボリックシンドロームが年々増加していますが、肥満、脂肪肝、糖尿病などの予防・改善が期待される機能性食品成分に関する最近の話題について、ユーモアを交え分かり易くご紹介いただきました。

最後に、中山功一 先生から、「整形外科発のあたらしい再生医療」という演題でご講演いただきました。

中山先生の研究成果である、細胞だけで厚みを持った立体構造体を作ること、更にこの手法を発展させ複数種類の細胞をLEGOのように任意のXYZの位置に配置した立体的な細胞構造体を作る手法について、画像を交え分かり易くご紹介いただきました。



講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

40代女性

接することのない研究成果をわかりやすく聞くことが出来ておもしろかった。

50代女性

難解だろうと考えていたテーマだが、興味深く聴かせていただきました。

40代女性

とても興味深く、再生医療の話は特に印象に残りました。(細胞の立体構造体を作る手法として)「剣山に刺す」という発想がすごいと思いました。

「グローバル社会と共生社会」 琉球大学

日 時 : 平成25年1月29日(火) 14:00~16:00

場 所 : 那覇市ぶんかテンプス館 4階 テンプスホール(住所: 那覇市牧志3-2-10)

平成25年1月29日(火)、那覇市において、琉球大学主催、沖縄学術振興会議の共催で、「グローバル社会と共生社会」をテーマにした学術講演会を開催しました。

吾郷眞一代表幹事及び琉球大学山崎副学長のご挨拶の後、琉球大学法文学部の高良倉吉 教授と、同じく琉球大学法文学部の池田栄史 教授のお二人の先生方を講師に迎え、テーマに沿ったご講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約60名の参加がありました。



はじめに、高良倉吉 先生から、「琉球王国時代の手紙 - 歴史の「場面」を考える - 」という演題でご講演いただきました。

琉球王国時代の人びとが書いた、あるいは書いたと想定される手紙の数々を具体的にご紹介いただきながら、知られざる「琉球王国の人びとの世界」、歴史の「場面」を生きた具体的な人間像の一端について、解説していただきました。



引き続き、池田栄史 先生から、「元寇沈船の発見 - 水中考古学の世界 - 」という演題でご講演いただきました。

先生が実施された、音波探査装置による海底地形や地質に関する詳細な調査、またそこから得られたデータを分析し、埋もれていた元寇船の船体と積荷を発見するに至った経緯等をご紹介いただくとともに、今後の東アジアの中世史研究、及び水中考古学の世界における今後の研究の展開についてご講演いただきました。



講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

30代男性

「学術」＝「無縁の話」ではなく、日常に結びつけられるものであるということ、講演者である高良先生と池田先生のお話は実感できるものでした。

50代男性

両先生のお話は、琉球、日本の歴史を感じさせるもので大変興味深く拝聴しました。もう少し時間があればと感じるくらいでした。

70代女性

講演の内容はとても良く理解できました。今後もまた参考になるような講演会があったら出席したいです。

平成24年度事業報告

1. 地区会議

1)平成24年8月16日(書面回議)

(1)24年度日本学術会議九州・沖縄地区会議事業計画

(佐賀大学・琉球大学開催)について

2. 科学者懇談会の開催

1)平成24年12月7日(金) 佐賀大学(佐賀市)

春日 文子 日本学術会議副会長

佛淵 孝夫 佐賀大学長 他

2)平成25年1月29日(火) 琉球大学(那覇市)

齋藤 敦 日本学術会議事務局長

岩政 輝男 琉球大学長 他

3. 学術講演会等の開催

1)平成24年12月7日(金) 佐賀大学(佐賀市)

「高齢化社会の健康と医療技術」

演題・講演者

「脳科学研究の展開 - ラボから日常生活へ - 」

堀川 悦夫 (佐賀大学医学部 教授)

「食品機能とメタボリックシンドローム予防」

柳田 晃良 (西九州大学健康福祉学部 教授)

「整形外科発のあたらしい再生医療」

中山 功一 (佐賀大学工学系研究科 教授)

2)平成25年1月29日(火) 琉球大学(那覇市)

「グローバル社会と共生社会」

演題・講演者

「琉球王国時代の手紙 - 歴史の「場面」を考える - 」

高良 倉吉 (琉球大学法文学部 教授)

「元寇沈船の発見 - 水中考古学の世界 - 」

池田 栄史 (琉球大学法文学部 教授)

4. 地区ニュース(No.111号)発行(平成25年3月)

平成25年度事業計画

1. 地区会議

1)平成25年6月 九州大学事務局(未定)

(1)25年度事業計画について

(2)科学者懇談会・学術講演会の開催について

(3)地区ニュースの発行について

2)平成26年3月 九州大学事務局(未定)

(1)25年度事業実施報告について

(2)地区ニュースの発行について

2. 科学者懇談会・学術講演会の開催

1)開催地・開催場所:未定

3. 地区ニュース

1)No.112号発行(26年3月)

日本学術会議 九州・沖縄地区会議

吾郷 眞一 (第一部所属 九州大学 副学長・大学院法学研究院教授)

伊藤 早苗 (第三部所属 九州大学 応用力学研究所主幹教授)

尾家 祐二 (第三部所属 九州工業大学 理事・副学長)

河野 正憲 (第一部所属 福岡大学 法科大学院教授)

木下 尚子 (第一部所属 熊本大学 文学部教授)

小松 利光 (第三部所属 九州大学 大学院工学研究院教授)

古谷野 潔 (第二部所属 九州大学 大学院歯学研究院教授)

高原 淳 (第三部所属 九州大学 先端物質化学研究所教授)

箱田 裕司 (第一部所属 九州大学 大学院人間環境学研究院教授)

前原 喜彦 (第二部所属 九州大学 大学院医学研究院消化器・総合外科教授)

満屋 裕明 (第二部所属 熊本大学 医学部教授)

安浦 寛人 (第三部所属 九州大学 理事・副学長)

五十音順

発行 2013年3月

編集 日本学術会議 九州・沖縄地区会議

代表 吾郷 眞一

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

(九州大学企画部学術研究推進課内)

電話 092-642-7074 (ダイヤルイン)

FAX 092-642-7090